

健康保険組合連合会（健保連）とは

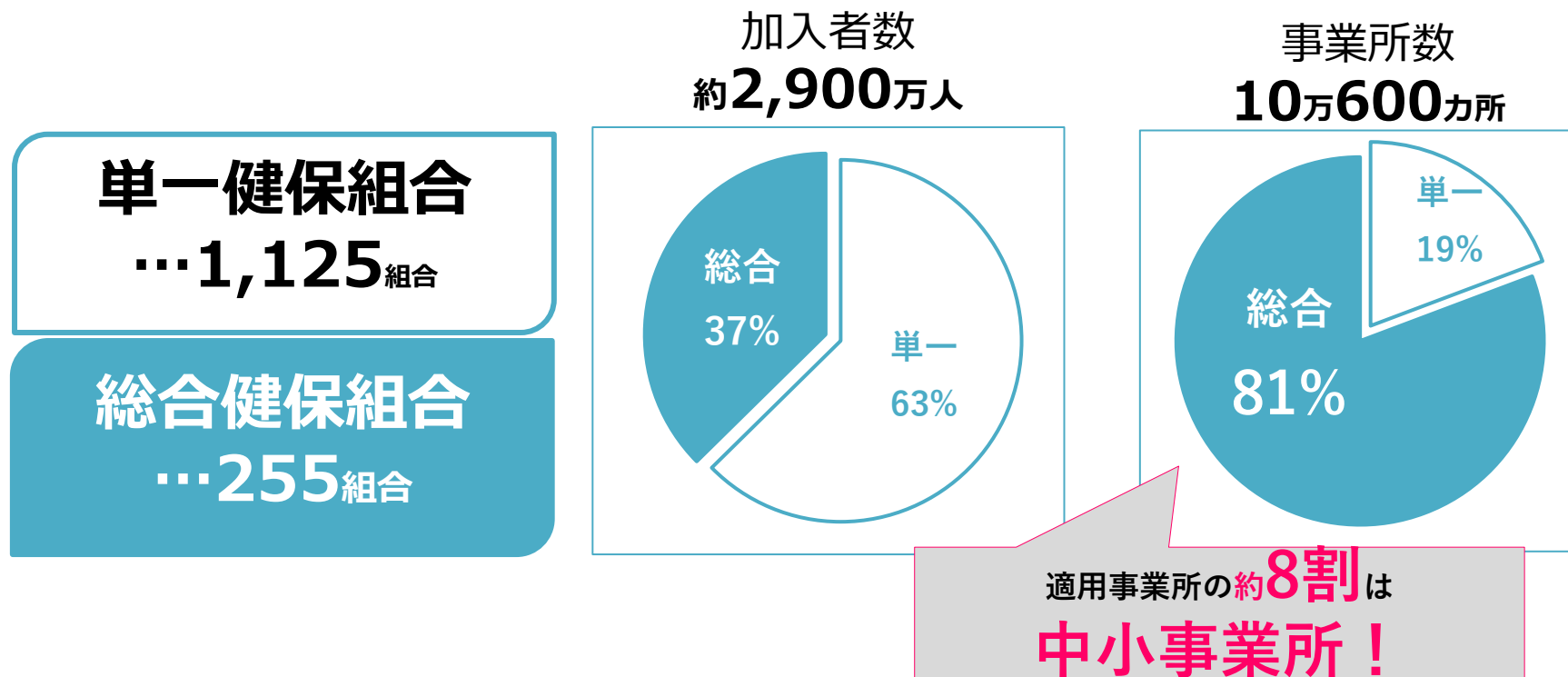
資料 2 - 4

健康保険組合連合会は、1943年に設立された公法人。

全国にある**1,380**の健康保険組合の連合組織として

健保組合制度の充実と発展を目指して活動している。

健保組合は、“**企業ごと**”(単一健保)あるいは“**同業種の事業所**”(総合健保)が集まって設立する。



※令和6年6月末現在（事業所数のみ令和5年3月末現在）

健保連と健保組合の取り組み

健康強調月間(毎年10月)

●本会では、毎年10月を「健康強調月間」と位置づけ。国民の健康意識の向上を目的として、**本会と健保組合が一丸となって、予防・健康づくりの取り組みを推進し、国民全体のヘルスリテラシーの向上に寄与**。体育の日制定の昭和41年にスタート。今年度で60回目。



体力づくり優秀組織表彰

●職域における保健・栄養の改善及びスポーツ・レクリエーションの普及運動（体力づくり運動）を推進し、顕著な成果をあげている健保組合を、本会が毎年度、スポーツ庁へ推薦。
昭和60年に職域組織が表彰対象となって以降

**「内閣総理大臣賞」7組合、 「文部科学大臣賞」31組合、
「体力づくり国民会議議長賞」49組合が受賞**

ニトリ健康保険組合(R6年度 文部科学大臣賞)

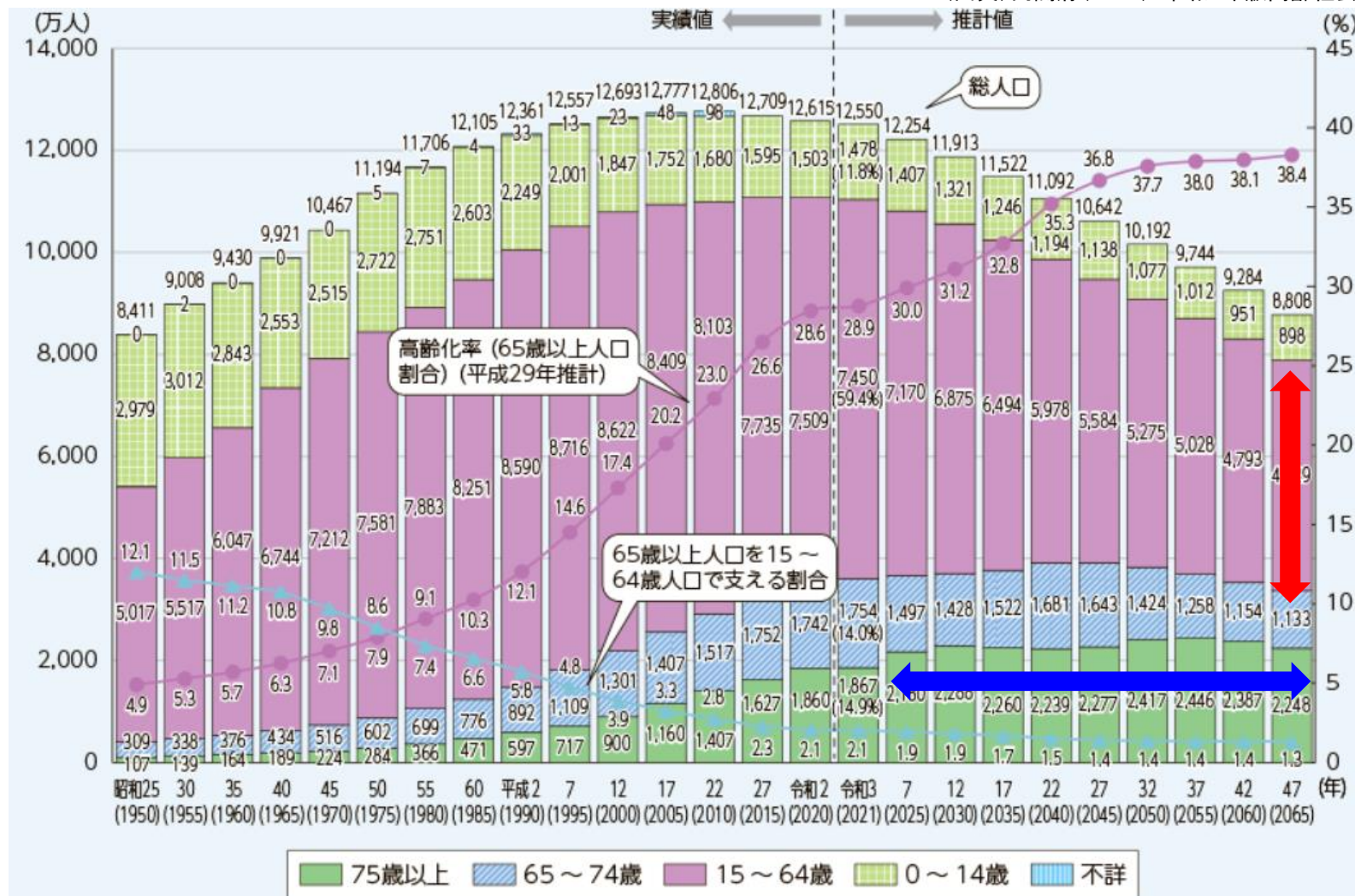
事業主とコラボヘルスで、**朝礼時と午後の2回、ラジオ体操を実施**。本社と東京本部に**無料のトレーニングルームを設置**。
ランニングやバレーボール、テニスなどの**クラブ活動にも力を入れ**、従業員同士が交流を深めながら**体力づくりに取り組んでいる**。

外国運輸金融健康保険組合(R5年度 文部科学大臣賞)

体育奨励事業として**「大運動会」を毎年開催**。「**体力測定**」や「**血管年齢測定**」なども導入することで、参加者は自身の体力や状態を把握でき、ロコモ対策にもなっている。**シニア層の運動促進のため、「シニアゴルフ大会」も実施**。

日本の人口推計と高齢化率の推移

(出典) 内閣府(2022)「令和4年版高齢社会白書」



○高齢者人口 ⇒ 2025年以降の伸びは穏やか

○生産年齢人口 ⇒ 2025年以降の減少が加速

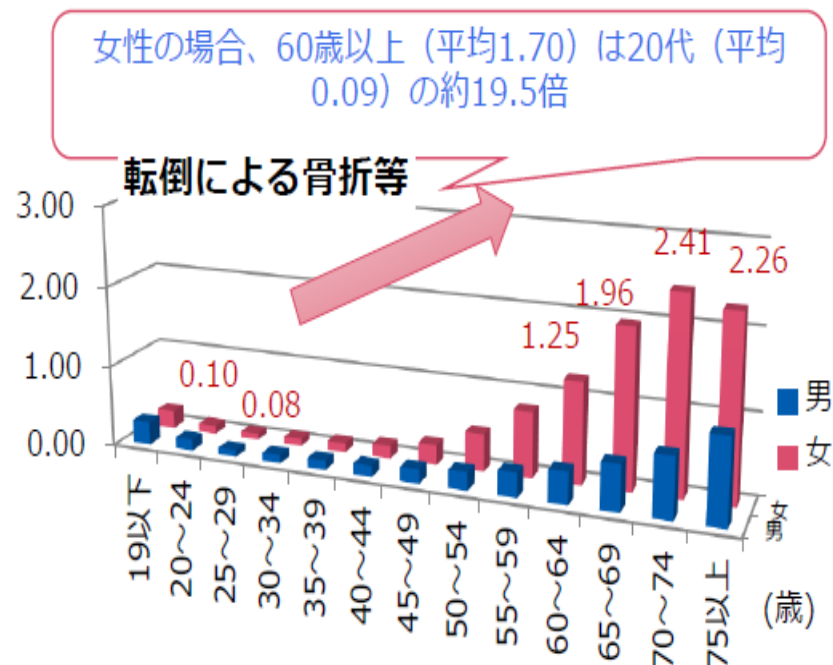
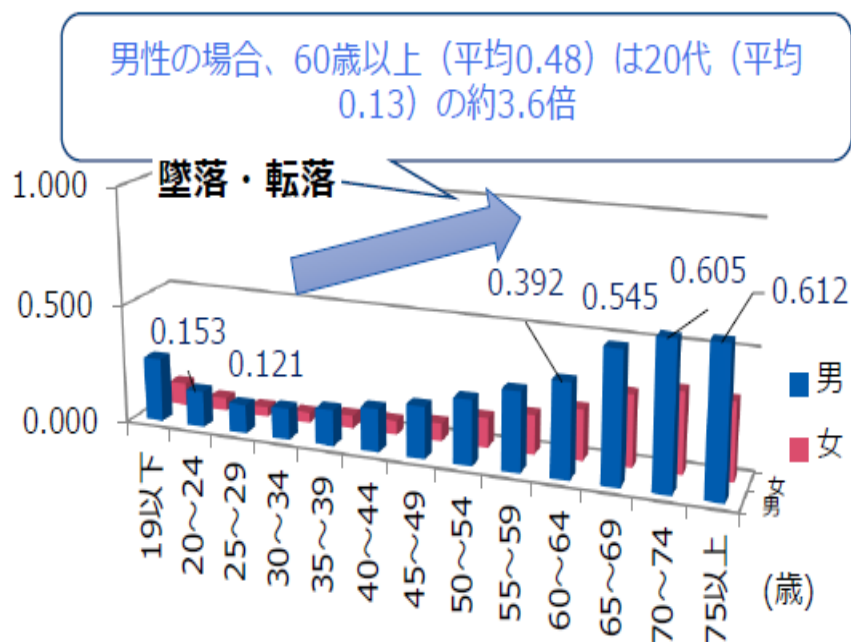
現役世代の健康がより重要になる

ロコモティブシンドローム対策の必要性

生涯を通じた健康課題 ▶ 運動機能の低下(労働災害の増加)

高齢就労者の転落・転倒が急増！

高齢労働者の労働災害の特徴

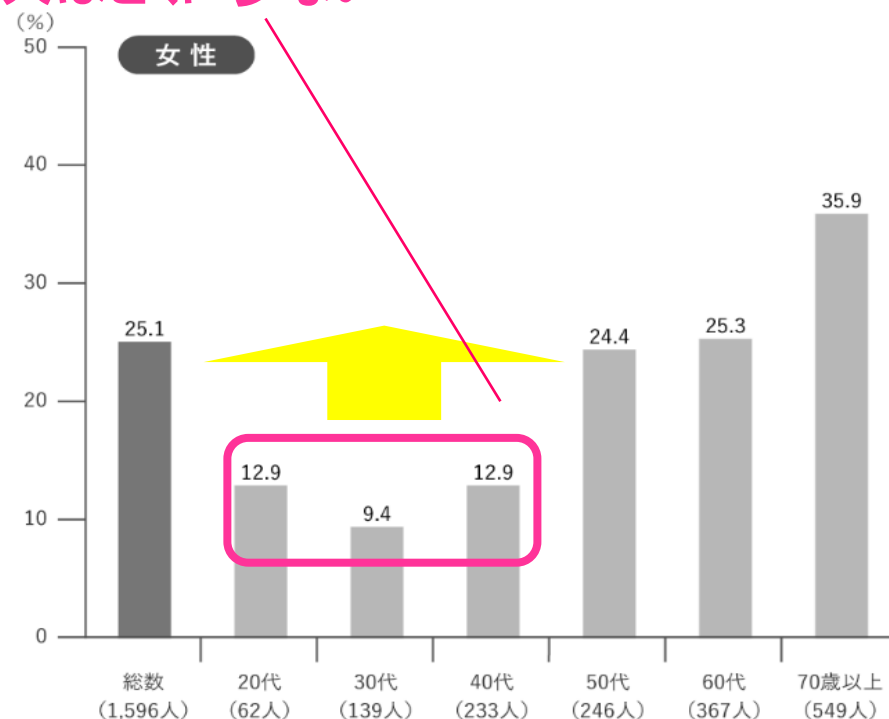
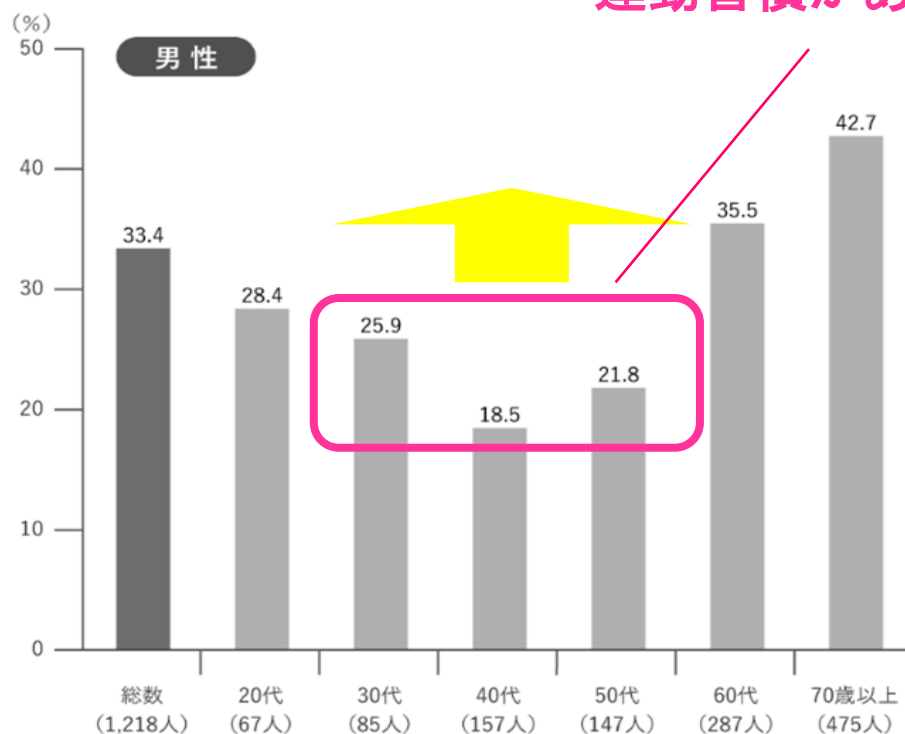


出所:厚生労働省資料「令和6年 労働災害発生状況について」

運動習慣のある人の割合

働き盛り世代の運動習慣を引き上げ、メタボ対策・ロコモ対策へとつなげる

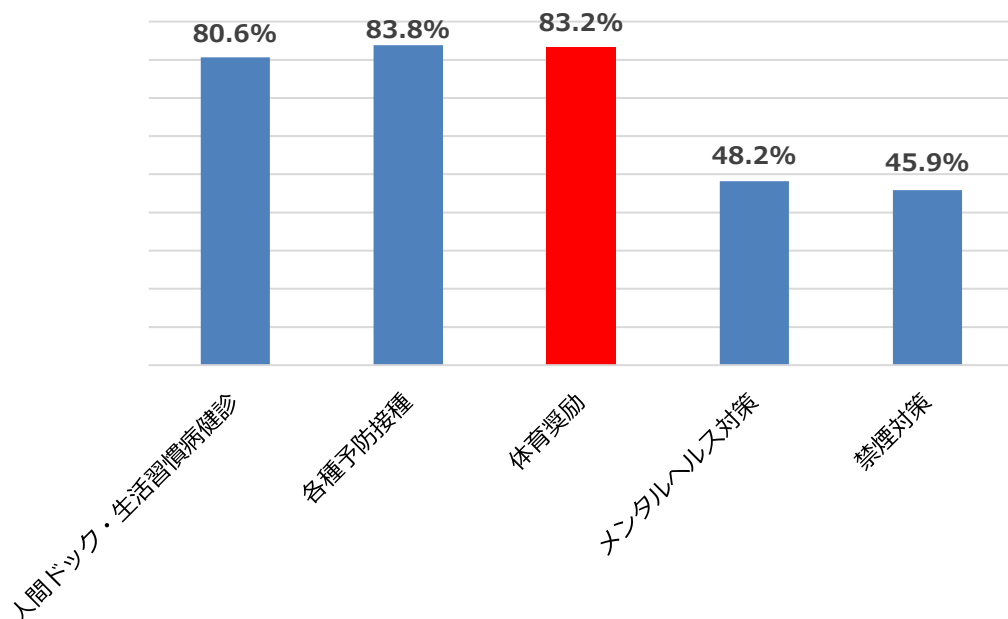
働き盛り世代の
運動習慣がある人はとくに少ない



出所: 令和元年 国民健康・栄養調査(3) 栄養・食生活、身体活動・運動の状況 | スポーツ栄養Web
【一般社団法人日本スポーツ栄養協会(SNDJ)公式情報サイト】(sndj-web.jp)

健保組合における主な保健事業の実施状況

■ 体育奨励事業の実施率 **83.2%** (1,085／1,304組合回答)



● 健保組合が取り組む体育奨励事業は、**ウォーキング大会が中心**。

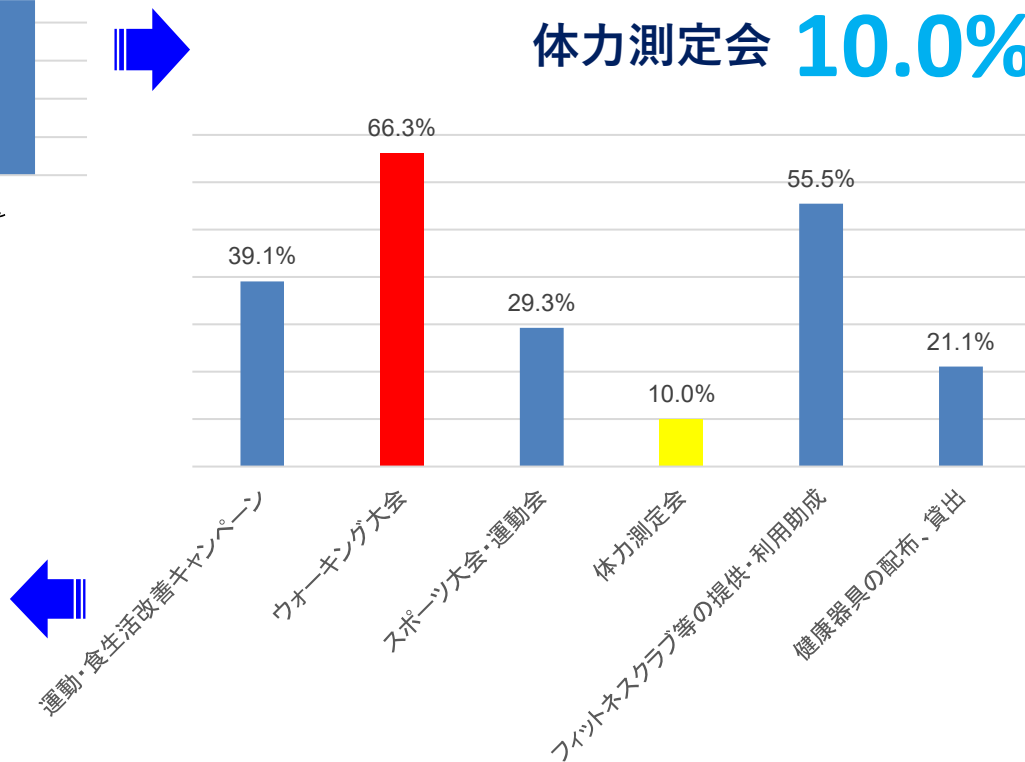
● 働き盛り世代の運動実施率を上げるには、体力づくりに取り組むメリットやエビデンスを示しながら、ライフパフォーマンスを高める目的を持った運動が重要。

● 健保組合のロコモ対策を促進するため、FIAと連携して「全国カラダ年齢測定」を普及・啓発している。

■ 体育奨励事業の実施内容

ウォーキング大会 **66.3%**

体力測定会 **10.0%**



健保連:保健事業実施状況等調査(令和元年度実績)より

健康に関する国の取組

【各省庁の取り組み】



- 健康日本21
- スマートライフプロジェクト



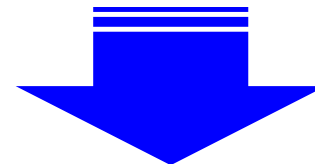
- 健康経営銘柄
- 健康経営優良法人



- スポーツインライフ
- スポーツエールカンパニー



- 日本は世界一の長寿国、健康データの蓄積も進んでいる
- 多くの企業・保険者・自治体で「予防・健康づくり施策」が目白押し



運動・スポーツ実施による予防・健康増進のエビデンスを示し、省庁横断的な取り組み(連携)が必要